

国土交通省
国土交通大臣 太田昭宏 様

要 望 書

環日本海交流の拠点となる
秋田港の整備促進と総合的な
エネルギー供給基地としての
港湾整備について

平成25年6月20日

秋田商工会議所 会頭 渡邊 靖彦



秋田港振興会 会長 渡邊 靖彦



秋田みなと振興会 会長 矢吹 達夫



一般社団法人秋田県貿易促進協会
会長 齊藤 健悦



環日本海交流の拠点となる秋田港の整備促進と 総合的なエネルギー供給基地としての港湾整備について

秋田港は、昨年4月に外港地区に新国際コンテナターミナルが供用開始したが、平成24年のコンテナ貨物取扱量は、過去最高の6万5千TEUに達し、今後も増加する見込みであることから、目標コンテナ貨物取扱量10万TEUに向けて、コンテナヤードを拡充するための2期計画工事に着手しているところであります。また、「秋田港シーアンドレール構想」の実現のため、秋田港とロシア極東を結ぶ環日本海航路の開設に向けて、地元民間団体と行政が一体となって積極的に取り組んでいます。

さらに、これまで火力発電所や石油備蓄基地等によるエネルギー供給基地としての役割を果たしてきましたが、今後は洋上風力等の再生可能エネルギーへの対応が課題となっています。

以上を踏まえ、環日本海交流の拠点となる機能強化を図るための整備促進と総合的なエネルギー供給基地としての港湾整備を要望する。

1. 環日本海交流の拠点である秋田港について、通年で安定した船舶の入港・停泊を可能とする港内静穏度のさらなる向上を図るため、国直轄事業による防波堤の延伸及び改良等の整備を促進すること。

- ①防波堤(第二南)の延伸
- ②防波堤(南)(改良)の整備
- ③防波堤(新北)の延伸

2. 県内港湾について、これまで電力等のエネルギー供給基地としての役割を果たしてきたが、今後新たに再生可能エネルギー等への対応が課題となっていることから、これらの新たなエネルギーに対応した港湾計画改訂に伴う調査への支援制度を創設するとともに、港湾計画改訂手続きの緩和を図ること。

以上の点を強く要望する。

環日本海交流の拠点となる秋田港の整備促進



総合的なエネルギー供給基地としての港湾整備

